

明るく元気の出る町

平成10年9月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1998 9

NO.522

祝 ご成人おめでとうございます



8月15日 成人式に新成人がそろった



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」



8月18日 えびす俵を若衆が大物忌神社に奉

七十七人が大人のスタートラインに

平成十年度成人式

八月十五日有鄰館において、晴れて大人の仲間入りをした若者たちを祝う平成十年度東由利町成人式が行われました。今回の対象者は昭和五十二年四月二日から五十二年四月一日までに生まれた七十七人。このうち成人式には七十人が気持ちも新たに出席しました。



式典は午前十時過ぎにはじまり、新成人一人一人が点呼された後、代表して鈴木政也さん（袖山）に成人証書が、菊地結香さん（館西）に記念品が阿部幸悦町長から贈られました。

その後、阿部町長が「若いということはそれだけですべての可能性を秘めている。有限の時間の中で充実した人生を送ってほしい」と式辞、阿部副議長、小松順之助教育委員長が祝辞を述べました。引き続き新成人を代表して、小野一成さん（下通）が、これまで育ててくれた方々への感謝と、新たな旅立ちへの誓いのことを力強く述べ、式典が閉じられました。

式典の後、新成人を代表して高橋信吾さん（須郷）と長谷山孝子さん（向田）がこれからの決意を発表しました。

「誓いの言葉」小野一成

私たちが生まれ早くも二十年という月日が流れ、この東由利町で成人式を迎えることができることを大変うれしく思います。

本日、成人式を迎え大人の道に一步踏み出したわけですが、今の自分があるのは、生まれたときから今日まで育ててくれた両親や地域の方々、先生方の指導があったからです。この場をもつて深く感謝申し上げます。

さて、私たちもようやく成人として歩みだし、今後大人としての「責任感」という言葉がついてまいります。やはり自分の行動に責任をもたなければ、周りの人からは自分を大人としては扱ってくれないのではないのでしょうか。人を思いやる心、いたわる心をもつことなどから生まれてくるものではないでしょうか。



▲誓いの言葉を述べる小野さん



▲気持ちも新たに成人式に出席した成人者たち

私たちはこのことを心にとめ、自分のため、社会のため、そしてこの町のためになるようなことを行わなければならないと思います。どんなことでもいいです。からコツコツと、不平不満をいうより先に、まず一歩進んでやることを心がけ大人になった自分というものを確立していかなければならないと思います。私たちは今、子どもから大人への分岐点にいるわけですが、自分たちが学生のころに学んだことを不景気といわれる世の中で日々努力していきたいと思っています。

最後に今日誓ったことを生涯忘れず、社会という大きなカベにぶつかっていかうと思います。

成人について思うこと 高橋信吾



本日、私たちは成人式を迎えることになり、何よりこの成人式で中学校の時以来の友人に会うことができ大変うれしく思っています。

さて私は高校卒業後、本荘の水林にある本荘由利森林組合に就職しました。自分では事務的に働く仕事よりも、外で働く仕事の方があっていると思い、この仕事に着きました。

確かに幼少の頃思い描いていた夢とは正反対なのですが、就職して三年で仕事の方向性が見え、職場の同僚や上司との関係もうまくいっています。

また友人との交流で酒やタバコの付き合い方など成人を迎えたいと考え方

が変わってきました。

自分としては成人という節目を迎え、仕事や地元ではたちの集いなどの活動など前よりも積極的になったと思います。

ただ人付き合いはまだまだ上手にできず人のことを考えすぎて思ったこともいえない状態なのです。

私は十代の頃から人の目というものを気にしてきました。人と話す時や行動を共にする時も、遠慮したり自分を抑えたりして自分の考えをごまかしてきました。それは大人になった今でもまだ自分の中にあります。

成人を迎えてこれから何をやるにも、自分の考え方を積極性とか前向きな方向に向上させていきたいと思っています。

他人の意見を取り入れ、自分というものを見つめ行動できるように、自分を徐々に変えていきたいと思っています。

いま、二十歳という人生の大きな節目に立っています。

成人のスタート地点に立ったばかりの私たちはこれから様々な経験をしていくわけです。そして苦しい時が必ずあるわけです。そんなとき今日ここに集まった友人などの顔や意見を思い出してください。きっとよい結果を見つけれられるはずです。

最後に何事も積極的に「挑戦」するという気持ちを忘れずに、前向きに物事を進められるような大人というものに向かって頑張っていこうと思っています。

新成人の意見発表から

(内容一部割愛)



私は高校時代を含め、五年間東由利町を離れ、去年町に戻ってきて二十歳を迎えました。離れている間に東由利町も随分変わりました。道の駅の完成、大琴から本荘市までの新しい道路、トンネルなど、昔に比べ車の出入りも多くなり、それに伴い他町の人々の出入りも多くなりました。

町が活性化していく中で、私たちは成人式を迎えたわけですが、私自身本当に成人するのか？というのが本音です。しかし先日初めて「選挙」というものに参加し、それからいろいろ考えるようになりました。未成年と成人の違い・・・、一言で表現するのは難しい。

いのですが、まず考えるのが車など購入するにも親の名前や印鑑が必要ないこと。つまり全責任を自分で持たなくてはならないということです。

今までは親の判断が必要とされ、問題が起きて親が解決してくれました。しかし年齢が二十歳となった時点で私たちは自分の生活、言動の全てを責任という袋に収めなければなりません。他人の行動に左右されてきた今までとは違い、自分の方向性を確定していく責任が私たちに必要とされるのです。一から進んで五で間違ったからといって親がまた一に戻してくれる時期は終わったのだと私は思っています。

私はまず成人を迎えるにあたり、わが町を大切にしたいと思います。「東

由利町ってどんなところ？」と聞かれた時に「東由利町はとても良い所だよ」と答えられるようになりたいです。これから五年後、十年後、私たちは、この東由利町は、どの様に変化しているのでしょうか。その行き先を決める「権利」が私たち成人者に与えられたのです。私は進んで東由利町の行事やその他の行事に参加してみたいと思っています。

色々なことに興味を持ち参加し、もし失敗を重ねても、いつか成功を収めることができる、そしてその成功を収めた時の喜びを絶対に忘れない、そういう人間になりたいと思います。

成人式を迎えられたことを本当に感謝しています。

成人式を迎えて

長谷山孝子

誓い新たに平和への願い

八月二十一日、有鄰館で戦没者追悼式が行われました。これは日清戦争以後、町出身戦死病没者三百十二柱の御霊に祈りを捧げるべく行われているものです。式には遺族など関係者百余名が出席、戦没者の御霊に献花するとともに、戦没者の安らかな眠りを祈りながら、平和への願いを誓い合いました。



平成10年町戦没者追悼式



▲戦没者の御霊に参列者全員による献花

午前十時に始まった式典では、臨席者による「君が代」斉唱のあと、阿部幸悦町長が町の現状を報告し「たくさんの課題をご遺族と共に取組み、明るく元気のでる町を作り上げていきたい」と戦没者への追悼の式辞を述べました。

続いて、式場正面中央に置かれた戦没者追悼之標柱の前に、戦没者の御霊に一分間の黙祷が捧げられる中、八月十五日の全国戦没者追悼式での天皇陛下のおことばが式場内に流されました。

その後、由利福祉事務所長、阿部議会議長、市郡連合遺族会長、下郷地区遺族会代表からそれぞれ追悼のことばが捧げられ、午前十一時前、瞑想曲が静かに流れる中、参列者全員が戦没者の御霊に献花しました。最後に玉米地区遺族会長による謝辞があり、おごそかな中で式が閉じられました。

老方地区一部で汚水処理が開始

七月三日の通水式をもって、老方館合地区農業集落排水処理場の供用が開始されました。

それにともない七月三日にまず老方地区の一部で自然流下による汚水流入が開始になり、その後八月十三日に、両前寺、新町地区の一部も汚水流入が可能になりました。

また、本年度の農業集落排水事業の工事が館合新田、寺田、湯出野、八日町（横山地区）などで行われております。ご不便をおかけしますが、山紫水明の里づくりのために、なにとぞご協力をお願いいたします。



▲湯出野で行われている工事の状況

排水設備工事については、お近くの町指定工事店に工事申込みをしてください。（工事店は次のとおりです）

●指定排水設備工事店名（申請順）●

- 長谷山施設 東由利町館合字新田60
- 山二施設工業（株）本荘市石脇字山ノ神11-623
- （株）興北協和 東由利町宿字宮ノ下30-6
- （有）柳沢建設 東由利町宿字船木66
- 長谷山建設 東由利町田代字片符沢62
- 総合施設（株）本荘市出戸町字大鉄町228-2
- （有）小松建設 本荘市鮎瀬字鮎瀬16-2
- （株）小松組 東由利町法内字倉沢279-4
- （株）佐藤組 東由利町館合字八日町40
- 村上建設 東由利町老方字西ノ浜23
- 加藤施設工業（株）本荘市川口字家後188
- （株）大沼組 東由利町蔵字蔵113-2
- （株）三共施設 本荘市薬師堂字谷地177
- 長谷山基工 東由利町黒渕字石田56-1
- 小松上下水道施設 本荘市田町86
- 佐藤工務店 東由利町黒渕字森ノ越128-1
- （株）佐藤土建 本荘市肴町66-3

第七回 議会臨時会

八月五日招集

第七回議会臨時会が八月五日に招集され、緊急地方道路整備事業町道両善寺線道路改良舗装工事請負契約の締結など議案三件、諮問一件を原案どおり可決しました。

議決報告

●議案第一号 緊急地方道路整備事業町道両善寺線道路改良舗装工事請負契約の締結について
契約金額・六千四百四十二万五千円／契約の相手方・株式会社大沼組

●議案第二号 中山間地域総合整備事業第〇四一〇九号工事請負契約の締結について
契約金額・五千五百八十六万

円／契約の相手方・羽後電設工業株式会社

●議案第三号 東由利町ホームヘルプサービス事業の徴収に関する条例の一部を改正する条例について

●諮問第一号 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
人権擁護委員として推薦した

ものです。(敬称略)

佐藤恒悦(館西・昭和五年一月四日生)

小松文介(横小路・昭和十一年三月十二日生)

青木榮子(田代・昭和十二年十月十八日生)



▲町道両善寺線

自治功労者 (元下郷村議会議員) 宮塚徳七氏ご逝去

東由利村自治功労者で、元下郷村議会議員の宮塚徳七氏が七月二十八日ご逝去されました。享年八十三歳。

氏は昭和二十二年下郷村議会議員に当選し、以来戦後の多難な時期に村政に参画され、昭和三十一年までの九余年の永きにわたり地方自治の振興発展に貢献されました。

故人のご冥福をお祈りいたします。

特別養護老人ホーム 「東光苑」介護員募集

町では平成十一年度採用の介護員を次により募集します。

■職種 介護員

■応募資格 昭和四十八年四月二日から昭和五十六年四月一日までに生まれた者で、高校卒業(見込み)以上の者

■受付期間 九月一日から九月三十日

■試験日 申込者に追って通知します。

■試験内容 作文及び面接

■その他 詳細については総務課まで(六九―二二一〇)

町長日記

夏まつり

今年のお盆はまずまずのお天気に恵まれ、各分館や自治会での行事も無事に終えられたようです。ご苦労様でした。

どんな行事もそうですが、主催者の皆さんのご苦労は大変なものです。特に伝統ある行事の主催者は大難儀です。

時代も、取り巻く環境も、人

も変わってゆくのですが、先祖先輩から受け継いできたものは、なんとかしつかり引き継ぎ、次にバトンタッチをしていかなければならないと強く思います。

しかし、なかなか人があつまらないことも現実です。勤めの人が多くなっているのですから行事は日曜日がいいとなりますが、その日は行事が目白押し。やっと開催にこぎつけるとその日は雨であったなどと主催者の苦労は大変なものです。

地区の盆踊りとあわせた夏祭り、神社の祭典など本当にご苦労様でした。お盆に帰省された多くの皆さんも、きっと久しぶりの故郷に満足して帰られたことと思います。

町野球協会主催、お盆恒例の社会人野球大会も今年で四十回目ということでもあります。大変な回数の積み重ねです。開会式では主催者の皆さんに心から敬意を申し上げます。また、始球式では新成人の長谷山さんと一緒に第一球を投げさせてもら

いました。

成人式も十五日にありました。今年の新成人は七十七人で七十名の出席でした。いつもながら若さあふれる皆さんです。「二十一世紀は皆さんが主役。

今、第二次世界大戦後五十三三年が経過し、日本も世界も新しい仕組み、価値観を作り上げるために必死である。東由利の、秋田の、日本の、そして世界の構成員としてしっかりと頑張ってもらいたい。先祖先輩の歴史をしつかり認識し、未来につなげてほ

しい」とお祝いを申し上げました。

心忙しかった暑い夏も終わりのよい実りの秋です。春先からエルニーニョ現象ということで不順な天候が続いております。また、全国的な大雨の被害も出ております。これから先、いい天気が続き、よい出来の秋になりますように心から願います。

待望の町民プール建設始まる



完成予想図

平成十年度はプールの建設が中心に

中学校プール、住吉町民プールの老朽化に伴い、要望が強かった町民プールの建設が台山で始まりました。今回の建設工事は本年度および来年度の二カ年で完成する予定です。

プール規模は二十五メートル、六コースのプールが備えられた三二五・二二五六平方メートルの規模。また、採暖室、談話室、トレーニングルームを有し、利用者の交流を図ります。

本年度はプールの建設が中心になりますが、来年度事業では利用期間を長くするための移動式上屋が建設されます。



▲夏休み、水遊びに興ずる子どもたち

プール工事の安全祈りあう



▲工事の安全を祈願した地鎮祭

町民プール地鎮祭

七月二十七日、台山において、町民プール建設の安全を祈る地鎮祭が行われ、工事関係者など二十余名が出席しました。

地鎮祭では工事の安全を祈った神事が行われ、阿部幸悦町長をはじめ、工事関係者が鍬入れを行いました。なお今年の工事は十二月までです。

町ではこの工事に直接影響がある中学生のみなさんの安全を守りながら工事を進めます。

昨今の体育施設事情

生涯を通じたスポーツライフの実現や心身の健康づくりは、本来個人の自発性、主体性に基づき実施されるものですが、現状は必ずしも十分な取り組みがなされているとはいえず、青少年の体力、運動能力の低下や心の健康問題など非常に憂慮すべき事態が見られます。

平成九年の保健体育審議会の中間まとめにおいても「親子が

地域で一緒にスポーツ活動をしたり、楽しむなど心身ともに健康な社会を実現していくためには、行政も住民の主体的活動を促すことが重要である」としています。

その際、拠点施設としてスポーツ・健康学習プラザを整備し、情報交換や学習を行うとともに、大人と子どもが一緒になって活動する場を支援することが重要であるとしています。



防災行動力を身につけよう

災害に対する日頃の備えは、家族と家を災害から守るための基本です。以前に備えておいたからと安心せず、年に一度は家庭での防災対策を家族みんなで再確認することが大切です。

家庭の防災対策も年に一度は確認を

非常持出袋の中身を点検

避難するとき、とつさに必要なものを持ち出せるよう、リュックサックなどにまとめ、非常持出袋として備えておくことが大事です。非常持出袋は目につきやすいところに置きましょう。

袋の中身はときどき点検することが大事です。使用期限などを確認して、中身を入れ替えるようにしましょう。

家の中を安全地帯に

地震が発生したとき、あなたの家の中は安全ですか。家具が倒れたり、棚の物が落ちてきたりすると、思わぬけがをしてしまいます。

家の中を安全地帯にするためには、次のような対策が必要です。

- ①家具類が転倒しないように、しっかりと固定する。
- ②電灯などが落下しないように、固定する。
- ③窓ガラスの破片が飛び散らないように、固定する。

年に一度は家族で防災会議を

会社や学校など外出先で地震に遭ったとき、どうやって家族と連絡をとりまするか。

いつ、どこで地震に遭っても、あわてず行動できるように、家族で防災会議を開き、次のようなことを確認しておきましょう。

- ・避難ルートを歩いてみる。
- ・緊急時にはどうやって連絡をとり合うか。（災害用伝言ダイヤルなど）



- ④棚の上には、重いもの、角のあるもの、ガラス製品を置かない。
- いように、ガラス飛散防止用フィルムなどを張る。



- ・避難するとき、子どもやお年よりの面倒をだれがみるか。
- ・避難するとき、だれが何を持ち出すか。
- ・非常持出袋はどこに置くか。
- ・救急医薬品や消火器の点検。
- ・家族役割分担をどうするか。

熱気あふれた競技展開

郡消防訓練大会

八月一日、県消防協会本荘市由利郡支部消防訓練大会が、本荘市松濤公園グラウンドで行われました。

本町からは町消防訓練大会で優勝した各分団が参加、各町から選りすぐられた消防団を相手に、規律訓練、ポンプ車操法、小型ポンプ操法で熱気あふれた競技を展開しました。

競技の結果、町関係の成績は次のとおりです。

- 【総合】五位
- 【規律訓練】四位
- 【ポンプ車操法】五位
- 【小型ポンプ操法】八位



▲堂々と競技に取り組んだ団員の皆さん

二十歳になったら年金加入

国民年金には国民みんなが加入します

Q…二十歳になったら国民年金に入らなければならないと聞きました。が本当でしょうか。

実は私には二十歳になったばかりの息子（大学生）と二十二歳（家事手伝い）になる娘がおりますが、まだ加入しておりません。また加入した場合の保険料はいくらになるでしょうか。

A…二十歳以上六十歳未満の日本国内に住所のある人は、すべて国民年金に加入することになっています。国民年金は、すべての国民に共通の「基礎年金」を給付する

の世帯の被保険者全員の保険料を連帯して納める義務を負っています。

二十二歳のお子さんについては、二十歳の時点で加入義務が発生していたわけですから、二十歳にさかのぼって加入することになります。保険料は二年以上経過すると時効により納めることは出来なくなりますが、幸い二年以上経過していないと思われますので、保険料を納めることは可能です。ちなみに平成八年度の保険料は月額一万二千三百円です。

詳細については町民課年金担当（六九—二一七）まで



ありがとう愛の献血

8 / 4

秋田ルビコン前

▼四〇〇〇〇

横山昌喜 小野弘喜 佐々木誠
高橋由紀江 小野彰 遠藤久
遠藤由美子

▼二〇〇〇〇

柴正徳 阿部由起子 猪股友子
遠藤羊子 小松五緒子 佐藤恵
理子 高橋ゆき子 阿部早苗
佐々木博子 長谷山広美 阿部

さゆり 守屋富士子 石渡ふみ子 榎野寿保子 八嶋俊子 渡辺泰子 高橋敬子

東由利町役場前

▼四〇〇〇〇

小松聖明 小松信記 遠藤晃
高沢稔 小松和美 高橋和幸
小松雄一 遠藤克幸 阿部幸悦
小松健

▼二〇〇〇〇

阿部弘章 嶽石文弥 高橋孝紀
小松達也 谷口勉 小松和子

道の駅東由利

▼四〇〇〇〇

高橋美和子 横山一郎
太田静江 畠山知也

▼二〇〇〇〇

佐藤和子 畑山奈保子
佐々木千幸 榎野善健
阿部浩樹 黒沢重久

わが町の指標

7回

◆水田単・六十二位

(八二・三%)

■参考

一位(飯田川町・九八・九%)
六十九位(鹿角市・六五・七%)

※一九九五年農業センサスより

経営耕地面積全体に対する水田面積の割合をいいます。

◆水稲収量(十アール当り)・三十三位

(五百二十三キログラム)

■参考

一位(由利町・五百六十九キログラム)
六十九位(阿仁町・四百二十二キログラム)

※平成七年秋田農林水産統計年表より

十アール(二反)当たりの水稲収穫量をいいます。

◆農業粗生産額・二十三位

(二百九十八万七千円/戸)

■参考

一位(大湯村・三千四百四十四万三千円/戸)
六十九位(八森町・百十五万五千円/戸)

※平成七年秋田農林水産統計年表より

農家生産活動で得られた農産物と、これを原料とする加工農産物

の生産額を合計した額をいいます。

◆耕地十アール当たり農業生産性・五十八位

(六万八千円)

■参考

一位(八竜町・十一万七千円)
六十九位(東成瀬村・四万七千円)

※平成七年秋田農林水産統計年表より

土地生産性で単位面積当たりの生産額を示すものです。

◆農家一戸当たり農業生産性・二十五位

(百四十一万円/戸)

■参考

一位(大湯村・一千五百八十四万三千円/戸)
六十九位(八森町・五十九万七千円/戸)

※平成七年秋田農林水産統計年表、一九九五年農業センサスより

農家一戸当たりの農業生産所得をいいます。

◆農家一戸当たり農用機械所有台数・九位

(三・〇二台/戸)

■参考

一位(大湯村・五・七四台/戸)
六十九位(増田町・一・六五台/戸)

※一九九五年農業センサスより

一戸当り農作業用機械台数をいいます。

秋田県統計協会発行「わがまちわがむら町の指標」より抜粋して紹介しています。

平成10年 秋の全国交通安全運動

9月21日(月)から30日(水)まで

交通安全フェア 平成10年9月20日(日)開催

運動の重点

- 1 高齢者の交通事故防止
- 2 シートベルトの着用の徹底
- 3 飲酒運転の徹底追放



秋の全国交通安全運動始まる

シートベルトの着用徹底が
秋の交通安全運動の中心に

平成十年度秋の全国交通安全運動が今年も九月二十一日(月)から三十日(水)までの十日間展開されます。

「ゆずりあいあなたの心のみせどころ」をスローガンに掲げた今年の運動の重点は「高齢者の交通事故防止」、「シートベルトの着用の徹底」、「飲酒運転の徹底追放」の三つです。

中でも、「シートベルトの着用徹底」が今回の運動の中心です。

本町シートベルト着用率
本庄警察署管内で最低

七月一日から九月三十日まで実施されているシートベルト着用推進キャンペーンの一環として、本庄警察署管内一市五町においてシートベルト着用率調査が行われていますが、八月十日本庄警察署交通課調べでは、本町は運転席の着用率七三・一%、助手席の着用率六一・〇%と管内で最低を記録しています。

東由利駐在所の柳田俊雄駐在所長は「特に軽トラのシ

ートベルトの着用率が低い。シートベルトを締めることは誰のためでもなく、自分自身のため。運転前に短時間で出来る安全対策なので忘れないでほしい」と話しています。

シートベルトの重要性の認識から死者減る可能性も

シートベルト着用については、運転者はもちろんですが、家庭での話し合いや地域、職場においてシートベルトの重要性を認識する必要があります。

シートベルト着用率調査

平成10年8月10日調べ

西目町	東由利町	大内町	由利町	岩城町	本庄市	運転席	助手席
91.6%	73.1%	93.2%	88.2%	84.6%	78.2%		
91.1%	61.0%	94.5%	79.3%	86.0%	78.7%		

平成十年度七月末現在、自動車乗車中の死者三十二人のうち、非着用者が二十四人。そのうち四一%の九人は着用さえしていれば助かる可能性があったものと県交通安全対策協議会では推測しています。

あなたとあなたの大切な人を守るシートベルトの着用を徹底したいものです。

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
去勢	21	306kg	384,200	1,193
雌	16	270kg	271,753	950
合計	37	290kg	335,574	1,088

●最高金額 去勢 515,550 北国7の8 福谷1 益美
●最高金額 雌 369,600 北国7の8 益美 栃錦

八月家畜市場

林業だより

スギ乾燥材

スギ材の主たる用途は建築用ですが、最近は乾燥材を求める傾向が強くなっています。

これは、建築様式が和風から洋風へと変化し、柱を壁面に露出させる従来からの真壁造りから柱が内部に隠れる大壁造りが増えてきたことが影響しているのです。

住宅メーカーが乾燥材を必要とする理由は、未乾燥材を使用すると狂いや割れが発生したり、クロス切れ、床鳴りなどのトラブルが発生するからです。こうしたことから住宅

木材共販市況

(平成十年八月・平均価格)
スギ・長級三・六五メートル

径級	単価(石)	備考
24~40cm	5,055円	
14~22cm	4,948円	
13cm下込	2,799円	
曲り材24~40	3,500円	
曲り材9~28	2,500円	

国有林の生産休止、原木の安値による民有林の生産調整等で出材量が減り、一部製材業者には原木の不足感が広がってきた。例年のような価格の上昇は期待できないが、需要の増加を望みたい。

メーカーでは、乾燥材の使用を標準とするところが多くなってきたおり、国内生産の乾燥材は製材品の六%と少ないために、乾燥の必要な部材に集成材を使用しています。

スギ材の需要を拡大するためには、乾燥材の生産が重要であり、生産体制の確立が急務です。

森林総合研究所では、乾燥コストの低い乾燥法を目的に、従来からの天然乾燥法と施設による人工乾燥法の組合せによるシステムを考えています。

(町林業懇話会会長 佐藤恒悦氏)

の地域若人たちの奮闘



▲堂々とした選手宣誓

▲開会式で勢ぞろいした選手たち

14チームが熱戦展開

開会式は、初日午前七時二十分、勤労者野球場で行われ、選手入場、優勝旗の返還が行われたあと、三十回以上出場した四チームに表彰状と記念品が長沼久男大会会長から贈られました。

袖山オリオールズなど三十回以上出場四チームを表彰

この野球大会は、夏のお盆に若人たちが一同に集まり、野球を通じて交流を深める祭典として親しまれているもの。今回の大会は昭和三十四年に初めて社会人野球大会が行われて四十回目の記念すべき大会です。

優勝を飾りました。この野球大会は、夏のお盆に若人たちが一同に集まり、野球を通じて交流を深める祭典として親しまれているもの。今回の大会は昭和三十四年に初めて社会人野球大会が行われて四十回目の記念すべき大会です。



▲町長らによる始球式

表彰チームは次のとおりです。
▽袖山オリオールズ（40回連続出場）▽役場タキオン（38回）▽宿（32回）▽法内フラワーズ（30回）
四十回記念の始球式では、阿部幸悦町長、今年二十歳になった長谷山孝子さんが始球を行いました。
二年連続ポパイ優勝
社会人野球で四度目の優勝
初日、曇り空ながら無事大会日程を消化しましたが、二日目はあいにくの雨まじりの中で試合が行われました。
決勝戦は、降りしきる雨の中、ポパイスポーツクラブが二回に三先取、四回にも一点を追加、そのまま逃げきり、二年連続四度目の優勝を飾りました。
なお、個人成績は次のとおりです。



▲優勝を飾ったポパイスポーツクラブ

真夏の祭典 年に一度

第40回東由利町 社会人野球記念大会

社会人野球四十年に寄せて



長沼久男大会会長

すっかり「夏の風物詩」として定着した社会人野球大会も時代の変革と共に歩み続けること四十年。奇しくも、長嶋選手が巨人に入団、背番号「3」で、セ・リーグの新人王に輝いた時を同じくして、産声を上げる事ができました。

野球を愛する人々から献身的なご尽力とご指導を頂き、設立以来、今日まで運営できたことをあらためて感謝すると共に、継続する力の大切さを痛感しているところでもあります。

なお、今年度は「二十四時間野球」「学童野球教室」などの

企画に際しまして、J.A関係はじめ、各方面のご理解とご協力に心からお礼申し上げます。

「生涯スポーツ」と声高にいわれている現在、スポーツ少年団をはじめ、今年度は「五百歳野球」への初出場、コミュニケーションと共に、健康づくり、体力づくりに貢献できる組織運営ができればと考えております。野球を通じ目標に向かうプロセスを大切に、諸先輩方が築かれた基本をもとに、時代の変化に即応し、協会の運営に邁進したいものだと考えております。

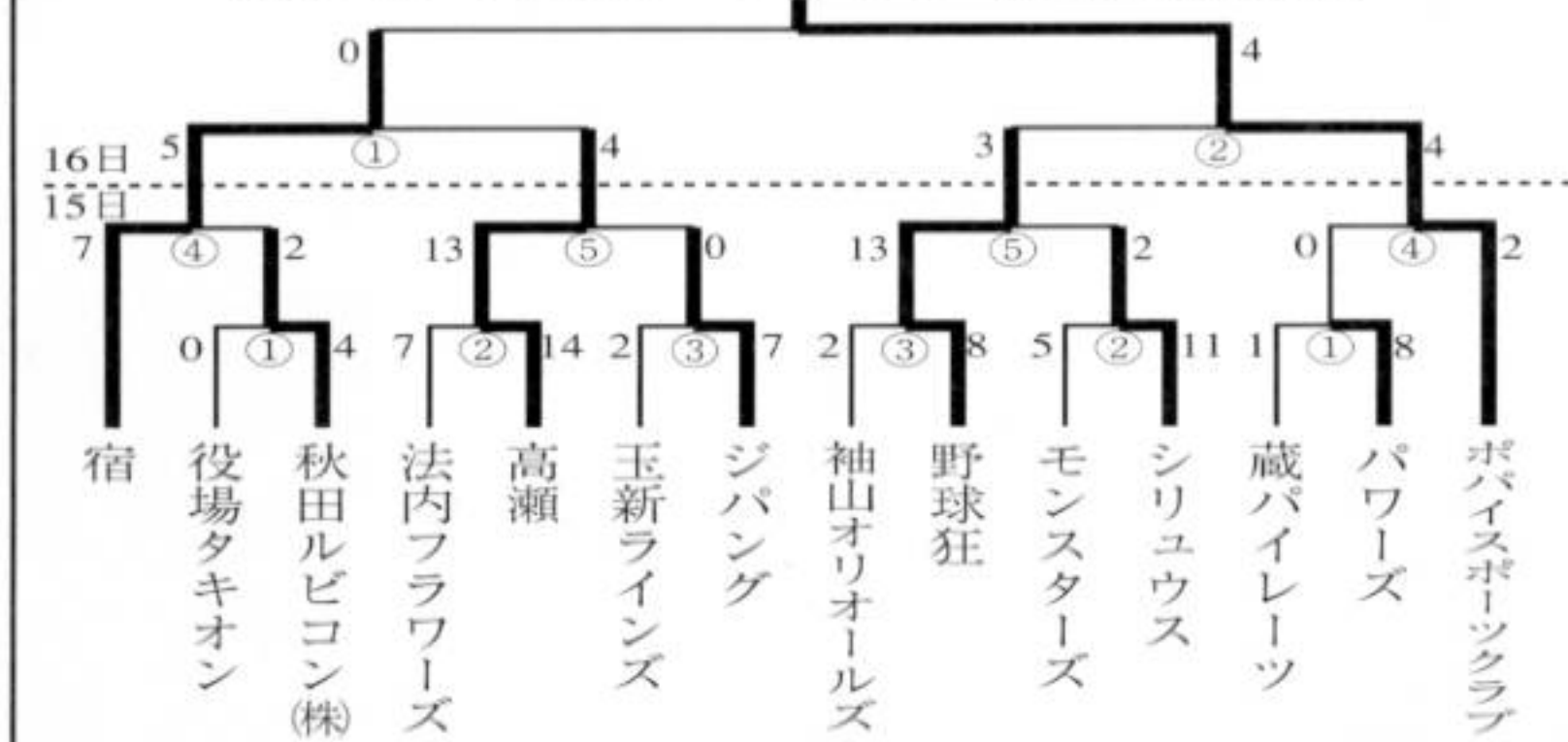
「たどりつきて未だ山麓」。四十年の節目にあたり、新たな希望にむかい、協会発展と関係各位による一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。最後にたくさんの方々からご協賛いただき、大会を盛り上げていただきましたことに感謝いたします。

40年間の大会優勝チーム

開催年	優勝チーム名
昭和34年	玉中教員
昭和35年	玉中OB
昭和36年	玉中OB
昭和37年	玉中OB
昭和38年	蔵口ローズ
昭和39年	蔵口ローズ
昭和40年	新町
昭和41年	蔵口ローズ
昭和42年	老方クラブ
昭和43年	法内フローズ
昭和44年	老方クラブ
昭和45年	役場
昭和46年	老方クラブ
昭和47年	老方クラブ
昭和48年	老方クラブ
昭和49年	老方クラブ
昭和50年	老方クラブ
昭和51年	佐藤林業会
昭和52年	玉米青年会
昭和53年	野球狂
昭和54年	野球狂
昭和55年	役場
昭和56年	野球狂
昭和57年	パワーズA
昭和58年	役場
昭和59年	野球狂
昭和60年	東由利メッツ
昭和61年	野球狂
昭和62年	野球狂
昭和63年	パワーズ
平成元年	パワーズ
平成2年	宿
平成3年	野球狂
平成4年	ポパイススポーツクラブ
平成5年	パワーズ
平成6年	宿
平成7年	ポパイススポーツクラブ
平成8年	パワーズ
平成9年	ポパイススポーツクラブ
平成10年	ポパイススポーツクラブ

第40回東由利町社会人野球記念大会結果

優勝 ポパイススポーツクラブ (2年連続優勝)



社会人野球の成績

●最高殊勲選手賞

今野和人 (ポパイススポーツクラブ)

●優秀選手賞

浅田大樹 (宿)

●敢闘選手賞

大庭司 (高瀬)

遠藤鋼大 (野球狂)

●勝利監督賞

長沼利文 (ポパイススポーツクラブ)

●ホームラン賞

阿部清隆 (野球狂)

畠山俊明 (モンスタース)

畠山鋼 (野球狂)

懐かしの野球大会

昭和三十四年九月十五日「東由利村報」には、第一回社会人野球大会が次のように紹介されています。

玉米教員チームに村長杯

本村野球同好会主催の第一回東由利村社会人野球大会は十三チームの参加で八月十二、三の両日、台山グラウンドで熱戦が展開され、優勝戦の末、玉米教員チームが優勝した。(玉米教員八人、新町増産班一点) バッテリー玉米三上博一、中村定次、新町小野久男、宮塚昭一、球審村井賢次。

町内各地域 夏のひととき

八月十三日から十九日にかけて、町内で様々な夏まつりが行われ、大人も子どもも一緒にまつりを楽しみました。地域間のつながりが希薄になりつつあるといわれて久しいですが、まつりを通じて交流が広がったようでした。それぞれのまつりを写真を中心にして紹介します。みなさんはどのまつりに参加してどんな思い出をつくれたでしょうか？



大台地区盆踊り 8/13

旧大台分校前で行われた盆踊り。踊りと唄を中心にしたほのぼのとしたまつりでした。



玉米地区盆踊り 8/14

館合農村公園で2年目をむかえた盆踊り。20代の若者たちが祭りを盛り上げ、熱気あふれました。



住吉地区盆踊り 8/14

旧住吉小学校校庭で行われた盆踊り。のど自慢の皆さんがカラオケに夜遅くまで興じていました。



大蔵夏まつり 8/14

おーくらんどで盛大に行われた夏まつり。盆踊りではやぐらを二重の人の輪が囲み皆が踊りました。

参加者それぞれ楽しむ



法内地区盆踊り 8/14

克雪センター前で行われた盆踊り。地区住民が中心になり、家庭的な雰囲気でした。



大琴自治会夏まつり 8/14

大琴メインストリートを開放してのまつり。各家玄関前に提灯が灯る中、民謡ショー等を楽しみました。



新町鹿島神社祭典 8/18-19

8月19日午前中に予定されていた子ども会のみこし行列は、雨のためバスで移動。夕方から老方館で行われた祭典では唄と演劇等で盛り上がりました。



岩館大いちょうまつり 8/14

8月14日午後、岩館大いちょうを囲む祭典が行われて、岩館諏訪神社参拝後、蔵地区を子どもみこしがねり歩きました。(写真協力：遠藤トモ子さん／横渡)



ボツメキ水源

ボツメキ水源では、訪れた人々がおいしい水を楽しみました。



袖山地区盆踊り大会 8/15

雨模様の中での盆踊りでしたが、袖山館玄関前で出店、館内ではカラオケ大会が盛大に行われました。



老方地区盆踊り 8/15

躍動フェスティバルと題した盆踊り。あいにくの雨模様の中、盆踊りと花火を楽しみました。

(写真協力：畠山貴子さん／両前寺)

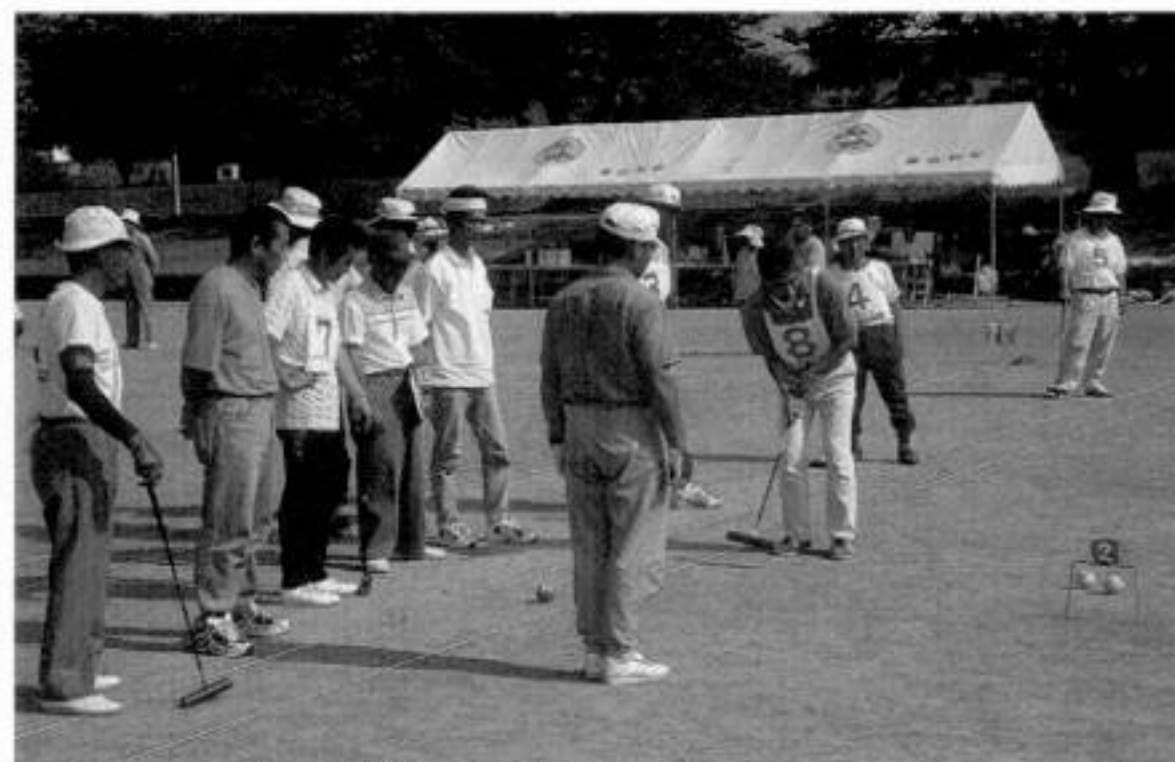


館合鹿島神社祭典 8/18-19

8月18日新成人ら若衆によりえびす俵が大物忌神社に奉納され、19日の本祭りでは獅子舞の奉納の後、雨降りしきる中、鹿島送りの行列が行われました。

炎天下の中競技展開、新町B優勝

スポーツ祭・ゲートボール



▲炎天下の中、競技が展開された

八月二十三日、雲一つない空の下、町民グラウンドで第五回町スポーツ祭（ゲートボール）が行われ、二十九自治会、五十チームがゲートボールに興じました。開会式では小笠原諒治大会会長が「本町はゲートボールの町といってもいいほど競技熱心な町。全力でがんばってほしい」と選手を激励。その後、阿部町長などによる始球式が行われ競技が始まりました。

午前中の予選ではどのチームもハッスル。一年一度のこの大会にむけて練習を重ねてきただけに、どの選手もプロ級の腕。町全体のレベルが向上しているのを感じさせました。午後の決勝トーナメントは、炎天下での競技でしたが、暑さに負けじとチーム一丸全力を尽くし合いました。

なお成績結果は次のとおり。

優勝・新町B、第二位・横小路、第三位横渡A、第四位・小倉B



▲みごと優勝を飾った新町Bチーム



▲選手宣誓は声高らかに

町長を囲み町の未来語る

ふるさと創造を語る会



▲阿部町長を囲み町の未来を語りあった

八月二十日、有鄰館でふるさと創造を語る会が行われ、町民ら二十五人が出席、町に対する意見を阿部幸悦町長と語り合いました。また町外からも町に意見をと、本荘市、秋田市からも参加がありました。この会は今回初めて実施されたもので今年何回か行われる予定です。

会では阿部町長のあいさつ、各委員の紹介の後、今年の町政概要の説明を阿部町長が行い、最後に意見提言交換が行われました。町政に新風を。今後が期待されます。

交通死亡無事故二千日にむけ

高瀬小が交通安全看板設置



▲手づくりの交通安全看板を設置

先日、交通死亡無事故千日を達成した本町。このたび次の目標である死亡無事故二千日達成を目指し、高瀬小学校校外指導部、PTA等が中心になって、町内に交通安全看板を設置しました。

町内に設置された看板は全部で十六余り、手作りの味を大切にと標語文字部分は父兄が直接書きました。同指導部では「看板を設置して終わりではなく、今後も子どもたちを交通事故から守る運動を続けていきたい」と話しています。



強豪相手に県優勝を飾る

バドミントンで全国大会へ

▲自分に出来ることをがんばると浅田くん

このほど行われたバドミントン全日本ジュニア選手権県予選で由利工業高校二年浅田隆行くん（大琴）がみごと優勝を飾り、九月中旬に埼玉県で行われる同全国大会の出場を決めました。県予選大会は全県の高校二年生三十余名が参加し行われました。「以前の大会で勝ち残った強豪相手だけに、まさか勝てるとは・・・」と浅田くん。バドミントンは高校に入ってから始めたもので、今年で二年目。「自分に出来ることを一生懸命にがんばる」と話してくれました。



職場体験を通して社会勉強

東中二年の職場体験

▲郵便仕分け作業を見学する中学生

八月五日、町内各事業所で、東由利中学校二年生たちが、大人社会の勉強をと職場体験を行いました。この職場学習は毎年行われているもので、体験を通して働くことの大変さ楽しさを学ぶもの。十カ所余りの職場にそれぞれ分かれまわりました。この日、老万郵便局に訪れた四人は、郵便の仕分け作業見学、パソコン操作などを行いました。またあらかじめ生徒が準備した質問に長谷山局長が回答、生徒らはしきりにメモをとっていました。



夏の夜を園児と父兄楽しむ

第七回みどりまつり

▲熱演だった職員の皆さんによる出し物

七月三十一日、みどり保育園庭において、みどりまつりが行われ、保育園児、父兄、地域住民などのみなさんが夏のひとときを楽しみました。このまつりは、地域交流のまつりとして親しまれている恒例の夏行事です。まつりでは中庭に設置されたキヤンプファイヤーを囲み、フォークダンス、花火が行われました。また、園児、園職員によるスタンプは、この日のために練習を重ねてきた出し物を披露。どのグループも熱演の連続でした。



民謡がつなぐ交流の輪

富山県北栄会が来町

▲富山の中学生も民謡を披露、喝采をあげた

七月二十五日、黄檗温泉「湯楽里」で、町民謡同好会と富山県北栄会による民謡交流会が行われ、総勢五十余名が親睦を深めました。この交流会は、町民謡同好会員の一人が出稼ぎ先で富山県北栄会と交流を深めていたことから、話しがまとまったもの。三時間余りの会では終始喝采があふれていました。町民謡同好会の遠藤真吉会長は「大変盛会に終わったと思う。機会があればぜひ富山で秋田の唄を披露したい」と話していました。

東由利文化クラブ

虫歯

なんてないも〜ん。

1歳6か月児健診
()内は保護者

遠藤光平くん
五海保(明博さん)



遠藤優太くん
新処(勝さん)



伊東寿信くん
蔵新田(寿栄さん)



小松レイくん
新町(茂明さん)



高橋勇貴くん
須郷(伸さん)



畠山彩花ちゃん
茂沢(明さん)



阿部公蔵くん
野田(宇左工門さん)



高橋星ちゃん
横小路(一さん)



町で働く他町村の方紹介

高橋忠成さん(四三歳)

タカケンストア勤務 大曲市より通勤



現在の仕事について

「生鮮食品関係を手がけています」

職場をどうやって知りましたか

「業者の紹介で知りました」

職場の印象を

「環境や雰囲気はいいですし働きやすいです。またシロウトの集まりでしたが、一年間よくここまで頑張ったなと感じています」

通勤状況は

「やはり皆さん言われますが、冬場は雄物川の峠がこわいですね」

東由利の文芸

(せせらぎ句会)

虫干や父の形見を捨てきれず
水色の水より釣りし鮎の色
産牛に励まし食わし猛暑来ぬ
稲の花良寛遺墨の手鞠唄
蝸虫迷路の乾く軒端かな
十楽を踏んで取込む干布団
山鳩のくぐもり鳴ける土用かな
ひよっこは今年も来たよ盆踊
かまくらも皿に添えらる夏料理

高戸屋 小松 敏雄
中通 小松順之助
久保 高橋 典三
蔵新田 小野 貞子
五海保 嶽石 レイ
家ノ下 小松 正昭
横小路 宮野源二郎
湯出野 佐藤 正義
秋田市 嵯峨 義之

夕風や岬に古りし海難碑
柳川鍋育ちざかりに卓せまし
亡びの田蠅取草に花の見え
蟬つぶて畝間の草を引きをれば
蝸虫保母が眠らす子守唄
みな海へ留守の風鈴長くひびき
落し文一つは亡母の便りかも
長雨に紫陽花の枝たれこむる
観察としきりに言ふ子かたつむり蔵新田
無縁墓地草刈る盆の近ければ
捨て山田十年前の蓮咲けり
老犬は人を頼りにかたつむり
先代の残せし美林蟬しぐれ

船木 大庭景石門
上里 小野石路子
舟打場 高橋民治郎
山崎 小松 良子
蔵 阿部 澄子
蔵新田 小笠原亮子
横渡 高橋ヒデ子
時雨山 吉川 葉子
下小路 小松 メサ
湯出野 小松 徳蔵
横小路 小松 丈介
小倉 遠藤トミ子

アイドルをさがせ!

はやと
齋藤颯人ちゃん(10カ月)
お父さん:一さん
お母さん:和子さん
【新町】

お話し:和子さん



名前について教えてください。

「本などを読んでいたらさわやかな印象の名前を見つけたので、二人で決めました」

どんなお子さんですか

「元氣いっぱいワンパクな子どもです。人見知りもせず積極的。遊んでくれる人は誰でも友達です」

チャームポイントは

「笑顔と髪の毛が立つことです」

好きなものはなんですか

「生き物が好きで、牛や犬に興味があるようです」

最近のエピソードは

「体格がしっかりしてきて、動きが活発になってきました」

将来について

「まだ分かりませんが、できればやりたいことをやらせたいです」

童話を

あなたに

ソフィーとおかあさんがおちゃの時間にしようとする、突然玄関のベルが鳴りました。ソフィーがそっとドアを開けるとそこに大きな毛むくじやらのしまもようのトラがいました。トラはおながすいているのでお茶の時間にやってきました。ふたりは喜んで部屋にいれると楽しい

おちゃのじかん



きたとら
／J. カ

お茶の時間がはじまりました。二人の楽しいお茶の時間に突然のトラのお客様。でも三人の方がずっとおいしいお茶の時間だったのかもしれないね。
この本は絶版になってしまった本だったので、もう一度子どもたちへという願いで再販されたものです。誰もが小さいころ一度は本を手にしたことがあると思いますが、そのすべてが今も読むことができます。限りません。どんなに探してもなくなったり消えてしまったものもあるから。

一冊の本には書いた人の色々な思いが託されています。絵本はたくさんさんの夢を持っている子どもたちに伝えたいことがぎゅぎゅつまった宝物。いつまでも大切にしておきたいものです。

二町一村合同海外研修のお知らせ

生の文化に触れ、体験を通して海外を知ろうと毎年行われている海外研修。今年の研修先はオーストラリアです。
オーストラリアは南半球にある世界最小の大陸。北はアラスカ海、東は太平洋、南と西はインド洋に面する国です。
昨年まで、大内との合同研修でしたが、今年から南外村も加

- 実施時期 十一月二十日から二十六日まで七日間(予定)
- 募集人員 七人
- 資格 東由利町に居住している人で満二十歳以上五十五歳未満の者
- 締切 九月十八日(金)
- 詳細 教育委員会生涯学習課(☎六九二二二二)

下郷分校三年生徒会長

創立五十周年にあたり

下郷分校三年生徒会長

遠藤和美くん



創立五十周年という大きな節目の年を生徒として迎えることができたことは、大変うれしく誇りに思います。

またこの節目の年を迎える私たちにとって大事なことは、故きを温ねて新しきを知ることなのでは

ないかとも思っています。このことは、私たちの現在と未来に、そして本校の現在と未来に、必ずや大きな意味を与えてくれるものと思うからです。

現在本校は分校という小規模な性格からして、他の大規模校と比較すると、いくつかの弱い面を持つていることは否めません。しかし五十年という月日の重みには思いをたくすとき、分校ならではの数々の良い面、例えば、生徒間、先生と生徒とのコミュニケーションのスムーズなところ、目を向けさせられるのです。良き伝統の一端はまさにこういった「分校ならではの」といったものによって創りあげられたのかもしれない。最後に、冒頭にも述べましたが、これまで培われてきた歴史と伝統を振り返り、その上に新たな一ページを創造していくための努力を、生徒会としてがんばっていき

むかしむかし

十五

山頂ののろし

鳥海山は、東北の名山、秋田富士として親しまれ、その美しさは、朝な夕な私たちの心をなごませてくれます。

また、秀麗な山容は霊山としても知られ、大物忌神社を奉斎し、昔から農耕守護、民生鎮護の神として崇拝し、どの集落でも「山かけ」の行事がありました。旧暦の七月七日には、講中の当番代表たちが山に登り、礼拝し、守りのお札を受けてきました。

むかし、大正七年七月、老方の小松忠一郎さんをリーダーとする意気盛なる若者たちは、趣向をこらして鳥海山頂でのろしをあげてみようということになりました。

打ちあげ筒を背に山頂に登り、二、三メートルの発射台から、威勢よくドカンと一発大空高く打ちあげま

した。若者たちは、この宇宙打ち上げ大成功に手をたたき喜び合ったそうです。

その尾にあたる長い紙に、豊作祈願や家内安全など若者たちの願いごとが書いてあるのでした。こうした中で一人の若者は「嫁コ早く来るように」と願いごとを書き入れました。

打ちあげられたのろしから飛び出た残月はぱっと白い傘を開くと、ふわりと天女の舞を見せるのでした。望遠鏡持参のくだんの若者は、白い残月の行く方を追いつけています。残月は静かに樹海に落下し、大きなブナの木にひっかかりました。これを見た若者は、望遠鏡片手にこ躍りしています。

仲間が「どうしたアニ！」と肩をたたくと、縁起を担ぐ若者のアニは「俺の願かけは早く嫁コ来るようにだ。こん度の縁談、間違いないく



(文と絵)石渡力造氏

俺サ、ひっかかる・・・えがったあ・・・と大歓びなのでした。そのアニの真顔に、みんなは大笑いしたそうです。
その後、アニの縁談がまとまったことはもとより、鳥海山頂ののろしあげは、村の話題になったということ。秀麗無比なる鳥海山は、むかしの若者たちのほほえましいロマンを包み、今日もかわらぬ姿を見せています。

9月▶データ東由利

〈7/1〜/31〉

住民基本台帳人口 () は前月比

- 男……………2,552人 (△6)
- 女……………2,703人 (1)
- 計……………5,255人 (△5)
- 世帯数………1,394戸 (0)

() は1月からの累計

- ・出生2人(18)・死亡2人(39)
- ・転入5人(48)・転出10人(110)

- 火災出動……………0件 (0)
- 救急出動……………6件 (81)
- 交通事故……………1件 (3)
- ・死亡……………0人 (0)
- ・傷者……………3人 (6)
- 飲酒運転……………0人 (1)
- 酒気帯び……………0人 (0)

9月の行事予定

- 1 防災の日
- 4 青少年劇場(猿倉人形)
- 6 少年野球教室(勤労者野球場)
指導山本浩二氏、工藤幹夫氏
- 9 第八回議会定例会(〜22)
- 9 由利家畜市場
- 11 合同金婚式(有隣館)
- 12 下郷分校記念式典
(下郷分校)
- 13 社会人野球選抜大会
(勤労者野球場)
- 15 敬老の日
- 17 全県野焼きを楽しむつどい
(八塩いこいの森)
- 17 農業委員会
- 19〜20 ゲートボール全国大会
(秋田市)
- 21〜30 秋の全国交通安全運動
- 23 秋分の日

ほっとひといき!

今年の夏の出来事から。

- ①お盆、様々な世代の人が「ぷれっそ」を訪れ、偶然の再会があちこちであったという話。
 - ②戦後50余年。当時の戦友に戦後初めて再会、言葉なくただ嬉し涙だったという話。
 - ③社会人野球で大会会長、チーム監督など一族四人が大会に参加したという話。
 - ④初めてのお客さんにいらっしやいではなく、お帰りなさいと呼びかけ、出迎えたという話。
- この夏、みなさんはどんな出来事がありましたか?。(さ)

東由利

郷土の野草

NO.163

コナギ

(ミズアオイ科)



北海道を除く本州以南、中国、朝鮮、インドなど、東南アジアに広く分布する一年草で、水田や苗代の外、休耕田などにも生えます。茎は束生し、それに披針形の葉が一枚ずつつきます。葉の長さは八から十二センチくらいで、秋、茎から短い花茎をたて、青紫色の美しい花を、葉にかくれるように咲かせます。この草は、自家受粉をして殖え、稲作と共に日本に渡来した史前帰化植物で、和名は「ナギ」(ミズアオイ)より小形なのでこのようにいわれます。

文・写真 小松忠正氏

広報クイズ

問・今年も盛会のうち終了した社会人野球大会。さて今回優勝したポパイスポーツクラブは四

十年の歴史中、通算何回優勝したでしょうか?。住所、氏名、年齢、広報の感想などを書いて、東由利町役場広報まで。締切は九月二十一日です。先月号は小笠原ひとみさん(市川市)、伊藤昭子さん(大内町)が当選しました。



戸籍の窓口

(7月21日〜8月20日届出)

●お誕生おめでとう

佐藤 絵里花さん (博) 敦 まゆ子 (八日町)

鎌崎 ふうかさん (正) 人 恵 雅 (松柴)

畠山 真奈さん (英) 吉 智恵子 (下通)

●ごめい福をお祈りいたします

宮塚 徳七さん (82) タマヨ・夫・新町

渡辺忠之助さん (78) 民蔵・養父・石高

小野 恵さん (80) 敦志・母・宿

小野 徳松さん (82) 久雄・父・新町

佐々木舜治さん (85) カツエ・夫・大琴

阿部 義彦さん (68) 裕子・夫・杉森

八嶋 サダさん (76) 与四三・妻・家ノ下

町の宝もの

第77回

いこいの森の桜は昭和四十一年四月二十八日から三十一日の四日間、阿部村長、村議会議員、役場と森林組合職員で桜一、一〇〇本、つつじ五〇〇本を植えたのが最初です。

五十六年以降渡辺与七氏、八塩山麓会の寄贈があつて、町でも補植し保育管理していますが、病虫害、雪害などによって淘汰され、平成九年十一月現在、桜の本数は、ソメイヨシノ九二〇本、八重桜二八〇本、黄桜二二〇本の計一、四二〇本です。

黄桜(御衣黄)は最初に植栽した中の八本が数年後咲き、管理人の与七氏が驚いて役場に知らせたら、酒に酔って目がおかしくなっ

まぶいしろう
社会福祉協議会に小野利彦さん(上里)、宮塚タマヨさん(新町)、岡田琴源さん(秋田市)、渡辺民蔵さん(石高)から芳志が、また広報送付謝礼として、小松洋治さん(水戸市在住・寺田出身)、石黒ミユさん(秋田市在住・館西出身)から金一封が届けられました。ありがとうございました。

今月の写真スナップ



畑村の小松篤さん宅で今年2度目の木蓮の花が咲きました。

八塩いこいの森の「桜」
ているのではないかと叫びたそうです。日本さくらの会幹旋の苗木に偶然混じっていたようです。いこいの森の桜は与七氏の功労が大きく、東京で表彰を受けています。当時今のような黄桜まつりになるとは、誰も想像できなかったのではないのでしょうか。

(文・畑山昭一氏)

